

第3回 日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会

議事要旨

■開催方法

書面開催

■開催期間

令和6年1月

■意見要旨

(野澤委員)

- 資料1の P10、P12、P14、P16 の「想定されるあり方・空間イメージ」という表現について、面積的に、それら全てを盛り込めるわけではないと想定すると、「あり方」とまで言い切るのは誤解を生じるのではないか。例えば、「想定されるあり方・空間イメージ」を「機能イメージ」と言い換えてもよいのではないか。
- P18 の「3. 今後について」について、整備後の維持管理・運営にかかるコストなどに対して、将来、多大な税負担が生じないよう、官民連携手法を検討する必要がある旨を加えた方がよいのではないか。
- 本取りまとめ(案)は、望ましい機能が提案されているが、敷地面積など様々な制限を踏まえ、今後、更に精査していく必要があるといった趣旨を加えた方がよいのではないか。

(伊藤委員)

- 同時に全てが成立するかどうか懸念があるが、4つの求められる機能については、異存はない。
- 各機能の事例や空間イメージについて、もし加える余地があるなら、以下をご検討願いたい。
 - ・ 資料1の P12 の②回遊・交流の機能の中で、単に「多方面から出入りができる」だけでなく、当該跡地の立地特性を考えると、表通りの都心軸から小道や用水が織り成す奥の空間に引き込み繋げる、といったことを加筆してもよいのではないか。パーミアビリティの高さ(歩行者のまちへの入り込みやすさ:浸透性)と言い換えても良いかもしれない。例えば、東京渋谷区の代官山ヒルサイドテラスはパーミアビリティの高い複合施設の一つだと思う。
 - ・ 八戸のマチニワが何度か登場しているが、ただ全天候型で開かれているだけでなく、交通との関わりも強い場所なので、その点にも言及できるとよりよいのではないかと思う。八戸はバスが通る中心街路が2本並行しており、それぞれ一方通行になっている。マチニワはその2本に挟まれた街区にあり、八戸ブックセンターとともに、街区自体がバス待ち空間かつ滞在できる空間となっている。それゆえ、マチニワには、バスの運行案内がある。
 - ・ 資料1の P14 について、神戸の東遊園地も近年の優れた事例だと思う。
 - ・ 資料1の P16 について、世界的な動向としては、まちの歴史を感じさせる建物をリノベーションして芸術的要素を加えた上で産業遺構として活用することが多い。そうした視点や事例にも触れられるとよいのではないか。これらの動向は、日本においては少ないが、世界的には明らかである。まちの歴史を継承する大空間が創造的に使われやすくなることや、アーティストやクリエイターの裁量に任せることができるといった意義が出てくると考えている。海外の事例としては、例えばナントの元ビスケット工場であるリュ・ユニークや、台北の元タバコ工場である松山文創園區

は、優れた事例だと思う。日本においては、金沢市民芸術村や、元々銀行であった BankART1929、神戸の元生系検査場であるKIITO は、好事例であり、参考となるのではないか。

(馬場先委員)

- 「求められる機能」に示された空間イメージについて、全ての役割を当該跡地に盛り込むには無理がある。むしろ、跡地を核として、このエリアに求められる機能とし、周辺整備に取り入れていくとよいのではないか。
- 求められる機能に共通していることは、品格と人の集いの場、情報・交流の場といえる。
- 平常時における求められる機能としては、提示案で問題ない。
- 一方、震災を経験した今、災害時における防災拠点としての役割を付加できればよいのではないか。まちなかにおいて、突然、災害に遭遇した際、すぐに逃げ込め、情報が得られる安全・安心な場所となること。また、市民が自宅へと帰った後も、取り残された来街者等の帰宅困難者が、しばらくは滞在でき、情報も得られるような、安全・安心な避難所(シェルター)としての機能も、必要ではないか。平常時に人が集い交流の結節点としての役割をもつこの場所にこそ相応しい機能ではないか。

(雨坪委員)

- 一番大切なこととして、金沢市が跡地を早期に取得した上で利活用の検討をお願いしたい。また、スケジュールを明確にして欲しい。
- 本格整備まで間、暫定利用することを検討して欲しい。
- 隣接地も含めた整備を検討する必要があると思っている。
- 跡地に求められる機能としては、常に人が行き交う香林坊の新たなランドマークとなり、まちの個性を最大限に引き立てるあり方として、複合型の総合ビルがよいと思っている。
- 低層階には、ラグジュアリーショップやレストラン、クリニック。中層階にはオフィスや金沢 21 世紀美術館のサテライト、ライブスペース等がよいのではないか。上層階はマンションとして活用してはどうか。但し、投資目的となるのはよくないので賃貸としてはどうか。
- ボーリング場や映画館、図書館等、若者がまちなかに来るきっかけづくりも必要である。
- 地下には駐車場も必要ではないか。
- 災害時に利用できる機能も必要と考える。
- 欲張りだが、これらの意見も踏まえ精査して、よいものとして欲しい。

(久保田委員)

- 取りまとめ(案)の内容について、特に異論はない。
- 当該跡地に求められる機能については、必要なテーマが網羅されていると認識している。
- ただ、4つの機能の中でも、最も重要なのは、人が集い、滞在し、賑わうことだと思っている。
- 今後についても、必要な事項が列記されている。
- これらの求められる機能は、公共・公益性が高いものであり、金沢市が主体的に跡地を取得することを早期に表明頂くことが第一歩だと思う。
- 他都市の事例を参考にすることは大切だが、他都市に例のない新しい視点、機能、仕組みを考えることも必要ではないか。
- 当該敷地の利活用だけでなく、道路や周辺を含め、街区単位の整備のあり方についても検討することが必要ではないか。

- 周辺には、観光客や近隣地域住民のほか、既存の買い物客や商業者等もたくさんいる。地域の防災・災害時の避難等でも使えることが必要ではないか。
- 都心軸沿道の中心商業地として、有効な暫定利用の方策についても取り組むべき。都心軸沿道の空地部分のみでも暫定利用し、有効活用できるのではないか。
- 敷地奥にあるタブの木や神社には、保存・活用を求める意見が多く、地域観光資源として有効活用し、管理できる方策が必要ではないか。
- 地域の関係者の意見を聞き反映して頂けるような進め方が必要ではないか。

(宮下委員)

- 全体として、非常にわかりやすく要点をまとめられており、とてもよいまとめとなっていると感じた。
- これまでの懇話会で出た、様々なご意見も反映されたものになっていると思う。
- ①魅力・品格が、ひとまとめにされているが、想定されるあり方などを踏まえると、ひとまとめにせず、分けてもいいのではと感じた。品格については、今回提案するもののあり方というよりは、金沢の全体的な姿に求められるベースとなる意識のようなものであり、それ以外のものにも大きく関わってくるキーワードだと思えるため、そう感じた。例えば、①品格、②魅力、象徴、求心力など、③回遊・交流、④多様・滞留、⑤文化・活動、といった分けかたも考えられるのではないか。
- 文化・活動(資料1のP16)において、例えば、新しい金沢の工芸や食文化の発信ができる場といった表現を加えたほうがよいのではないか。個人的感覚としては、工芸体験は、それぞれのエリアにすでに多く存在しており、それよりもそれらの優れたものを使用して食べるようなことであったり、工芸そのものの良さを感じることができる体験ができることに意味があるのではと思っている。

(砂塚委員)

- 資料1(P18)の「今後について」の中にある「金沢市が主体的に跡地を取得する必要がある」との文章について、「主体的に」という曖昧な表現を削除し、「金沢市が跡地を取得する必要がある」とすべきである。
- 跡地については、速やかに利活用できるように、適宜、日本銀行と協議を進めるべきである。
- 日本銀行が、売却に向けた検討を進めている間に、市は取得を表明し、取得すると同時に基本設計に着手できるぐらいのスピード感を持って取り組んで欲しい。
- 周辺の土地も取得すべきである。
- 跡地取得に向けた協議を日本銀行と進めると同時に、UR都市機構や民間事業主と協力し、周辺の土地を取得した上で真四角の形で開発して欲しい。
- 求められる機能としては、提示案のままでもいいが、伝えてきた意見をできるだけ反映して欲しい。
- 徳田委員が述べていたように、しいのき迎賓館や知事公舎などと連携を図り、にぎわいを創出する必要がある。
- 跡地内にある歴史遺産でもあるタブノキや神社をにぎわいのシンボルとして活用するような取り組みをして欲しい。タブノキをデザインした施設のマークを作成してもいいのではないか。

(米澤委員)

- 金沢駅前の金沢都ホテル跡地については、都市再生特別措置法の活用による開発が始まる。福井駅前の開発を例にとると、申出より1年かからず国より指定されており、日銀跡地と開発時期が重なる可能性が大きいと考える。近鉄不動産によると、同じく特措法により建設されたあべのハルカスを参考にするとメッセージが出た。あべのハルカスは展望台、オフィス、ホテル、デパート、ダイ

ニングのほか、公共性を有する国宝や重要文化財の展示も可能な美術館や、関西の 4 つの大学と連携したオープンキャンパスも含まれている。民間主導とはいえ、金沢都ホテル跡地は公共性も求められている以上、日本銀行金沢支店跡地との連携と調整が必要と考える。

(渡邊委員)

- 当該跡地に求められる機能として、大きく 4 つにまとめられているが、私は②回遊・交流と③多様・滞留の観点が必要ではないかと考える。市民アンケートの結果としても、交通に関する意見や空間形成に関する意見が多くを占めており、市民ニーズとも合致するため、これらの観点は極めて重要である。
- 当該エリアは、金沢の交通の要衝であると同時に多数の方が行き交う場所であり、魅力的な施設も周辺に点在していることも考えると、人の流れは十分ある一方で、交通の整理や待ち時間の有効活用などの観点で当該エリアはてこ入れが足りていない印象がある。
- 例えば、交通の結節点となるような取り組みとして、シェアサイクル、デマンド交通などの新しい交通サービスの提供などにより、回遊性を向上させつつ、賑わいも創出できるあり方を検討してほしい。
- ただ場所を提供するのではなく、人がとどまりやすい工夫も必要となる。商業施設などを上階に入居させた KITTE が例としてあるが、実現性の観点で難しいとも思われるので、キッチンカーや片町の商店街を PR できる場所など、空間づくりにアクセントをつける工夫は必要だと考える。
- 人々の回遊性を向上させつつ、ゆっくりとくつろげるスペースが必要。そのスペースの中に、周辺施設の情報なども提供できれば周辺の活性化にもつながっていくと思う。

(水野座長)

- 跡地に求められる機能について①魅力・風格、②回遊・交流、③多様・滞留は、④文化・活動の波及効果ともいえることから、④文化・活動を軸とし、今後の検討を進めるとよいと思う。
- 周辺環境との連携に目を向けると、鞍月用水やせせらぎ通り、長町武家屋敷跡との結びつきを検討する必要がある。

(徳田委員)

- 示された4つの跡地に求められる機能については賛同する。
- 今後については、跡地は金沢市が主体的に取得するとされていることから、日本銀行から売却時期が示されるのを待つことなく、今後の取り組みや、そのスケジュールについて速やかに示すべきである。

－ 以 上 －